CNIPA、知財権強国の建設に向けた国家知識産権模範・優位企業を発表

2022 年 11 月 10 日
JETRO 香港事務所

2022 年 10 月 31 日、国家知識産権局（CNIPA）は「**国家知識産権模範企業及び優位企業の 2022 年新バッチと再認証の決定に関する通知**」（关于确定 2022 年新一批及通过复核的国家知识产权示范企业和优势企业的通知[1]）（成文日は 10 月 27 日）を発表した。

本通知による模範・優位企業の決定は、「**知的財産権強国建設綱要**」[2]（2021 年 9 月 中共中央・国務院）の実施を徹底し、知財権で強い競争力を持つ世界トップレベル企業の育成を加速することを目的として、CNIPA 事務局から本年 5 月に発表された「**2022 年度知識産権強国建設のための企業向け実証作業に関する通知**」（关于面向企业开展 2022 年度知识产权强国建设示范工作的通知[3]）（以下「前通知」）に基づき実施されたものである。

前通知によれば、国家知識産権優位企業（以下「優位企業」）は、地域の知財権に一定の影響力と優れた優位性を持つ企業であり、国家知識産権模範企業（以下「模範企業」）は、育成期間 3 年満了済みの優位企業（2019 年以前に認定[4]された優位企業も含む）であるべきだとされている[5]。そして、それら企業は、企業による申込み、地方知識産権局による評価・推薦（提出）、CNIPA による審査を経て公表される。

本通知で公表された企業数は以下の通りである[6]。

- 482 社が模範企業、2,512 社が優位企業として新たに認定［新規］
- 875 社の模範企業、3,400 社の優位企業が再認証を取得［継続］

※　新ラウンドの育成期間は、2022 年 10 月から 2025 年 9 月まで。

---

1 ［原文］https://www.cnipa.gov.cn/art/2022/10/31/art_549_180019.html?xxgkhide=1
2 ［原文］http://www.gov.cn/zhengce/2021-09/22/content_5638714.htm
3 ［原文］https://www.cnipa.gov.cn/art/2022/5/30/art_549_175797.html
4 第 13 次 5 ヵ年計画期間（2016－2020 年）中から国家知識産権優位・模範企業の育成を実施。
5 日本企業も要件を満たせば選定され得る（不可であることは明示されていない）。
6 各企業の一覧は、本通知（上記注釈 1）の附件 1 ～ 4 を参照。

※　審査に不合格だった企業は、1 年間は優位・模範企業として元の地位を維持するものの、再審査で不合格または再審査に不参加の場合は取下げ。

模範・優位企業に選定された場合のメリットとして、各地域において奨励金や補助金などの優遇措置が設けられている。例えば、深圳市では、模範・優位企業と認定された企業に対して、それぞれ 100 万元、50 万元の奨励金が支給され[7]、天津市では、奨励金の他、資金、税金および金融面でも重点的なサポートが受けられる[8]。

また、各種通知には、CNIPA と地方知識産権局の役割として以下の事項が挙げられている。

CNIPA

✓　優位・模範企業を育成するための取組をさらに強化
✓　高品質志向を強調し、評価・査定を効果的に強化
✓　企業のイノベーション能力とコア競争力の持続的向上を促進
✓　知的財産権強国建設に向けた強力な支援を提供

地方知識産権局

✓　優位・模範企業に対する重点的な指導、サービス、監督、検査を強化
✓　各地域の実業務に応じて育成体制と作業計画をさらに改善
✓　支援政策を速やかに導入し、特別資金の運用を拡大
✓　企業の知財業務の典型例と先進経験をタイムリーにまとめて宣伝

（以上）

7　［原文］http://rank.chinaz.comz.shenkexin.com/news/info-skill-7870.html
8　［原文］https://zhuanlan.zhihu.com/p/532151580